

Press Release



2026年1月30日

報道関係 各位

株式会社マリモホールディングス

広島の大学生が、当社のフィリピンにおける
中低所得者向け住宅「アフォーダブルハウジング」事業を視察した映像を公開しました。

株式会社マリモホールディングス（本社：広島県広島市西区庚午北1丁目17番23号、代表取締役社長：深川 真、以下「当社」）は、フィリピン共和国において、中低所得者向け住宅「アフォーダブルハウジング」事業（以下「本事業」）に取り組んでいます。本事業は、フィリピンの社会問題のひとつである住宅不足に対して、家計に負担を強いることなく、安心して暮らせる住まいの提供を推進するものです。このたび、広島の大学生4名が本事業を視察した模様を、企業サイト内で映像として公開しましたので、お知らせいたします。

▼映像公開ページ

<https://www.marimo-hd.co.jp/group/affordable>

▼YouTube 映像

https://youtu.be/CUU_s1IE90w

このたび公開した映像は、海外志向の高い広島県の学生に、海外で活躍する地域のグローカル企業（※）の魅力を伝え、地元企業で働くことに新たな価値を見出していくことを目的としたマッチングプロジェクトの一環として、ひろぎんエリアデザイン株式会社が手がけるグローカルインターーンの、視察プログラムの模様を映像化したものです。視察映像は、2025年12月6日(土)に広島グリーンアリーナで開催された「ヒロマツホールディングス presents TGC HIROSHIMA 2025 by TOKYO GIRLS COLLECTION」でCMとして初公開されたほか、SNS等で情報発信され、多くの若者にフィリピンの現状と当社グループの海外事業を伝える機会となりました。

※グローカル企業とは、国際的に事業を展開しながら、その地域の特性に合わせた方法で事業を行う企業を指します。

当社は、1970年に設立された不動産デベロッパーの株式会社マリモを中心とするホールディングカンパニーで、10年ビジョンとして、社会課題の解決を目的とした事業を積極的に推進する、ソーシャルビジネスカンパニーへの進化をめざしています。具体的には、「MAP (Marimo Activity Portfolio)」という独自の経営指標にしたがって、2030年をめどに「ソーシャルビジネスとビジネスの割合が50:50で共存する会社」になることを目標としています。フィリピンのアフォーダブル

ルハウジング事業について、当社ではソーシャルビジネスと位置づけており、今後も、社会課題の解決にビジネスとして取り組むとともに、その魅力や価値を若い世代にも伝えてまいります。

【株式会社マリモホールディングス 会社概要】

- 代表者／代表取締役社長 深川 真
- 設立／1970年9月1日
- 本社／〒733-0821 広島県広島市西区庚午北1丁目17番23号
- 資本金／5,000万円
- 事業内容／グループ会社の経営管理、新規事業の推進
- グループ会社・団体／株式会社マリモ、マリモ・アセットマネジメント株式会社、株式会社GM アソシエ、株式会社マリモハウス、株式会社マリモ不動産販売、株式会社マリモソーシャルソリューションズ、株式会社マリモ・グローバル・テクノロジー、株式会社マリモ本草薬膳、株式会社フィッシュフレンズ、株式会社マリモライフ、株式会社マリモファーム、株式会社せともす、株式会社スケールフリーネットワーク、一般社団法人ライフスキルサポート協会、PT MARIMO GLOBAL TECHNOLOGY

以上

※本リリースに掲載されている画像の使用を希望される場合は株式会社マリモホールディングス広報部までご連絡ください。

※本リリース掲載の情報は、発表時点の最新情報であり、変更となる場合がございます。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社マリモホールディングス 経営管理本部 広報部 TEL 082-273-7545
企業サイト：<https://www.marimo-hd.co.jp/>